

令和元年度事業計画

1. はじめに

少子高齢化の進行に伴う労働力人口の大幅な減少が懸念される中、「生涯現役社会」の実現を目指すシルバー人材センターの役割は重要となっています。

しかしながら、景気の回復に伴って、シルバー人材センターにおける「臨時的就業機会」に定義づけられる就業機会は、高齢者にとって馴染みにくくなっている現状にあります。

今年度も、昨年度に引き続き会員増強に主眼を置き、会員不足による仕事のミスマッチをできるだけ解消し、魅力あるセンターづくりに努めます。

また、令和元年度の事業目標達成のために会員、役員及び事務局が一体となり「自主・自立」「共働・共助」の基本理念のもと、地域社会に根差したシルバー人材センターの実現に向けて、以下の事業目標を掲げます。

2. 事業目標

第3次中期5か年計画の実現に向けて、理事会や各委員会等を効率的に運営し、事務局と連携しながら下記の事業目標の達成に努めます。

- (1) 会員数拡大の推進
- (2) 就業機会の開拓・確保の充実
- (3) 安全・適正就業の徹底
- (4) 地域社会との連携強化
- (5) 組織運営の充実・強化
- (6) 財政基盤の健全化

3. 事業計画

上記事業目標を達成するため、下記の事業計画に基づいて各種事業を実施します。

(1) 会員数拡大の推進

- ① 入会説明会に気軽に参加していただけるよう、内容を精査し時間短縮に努めるとともに、開催曜日や時間帯のバリエーションを増やし、広く新規会員獲得に努めます。また、出張説明会や女性会員向け入会説明会の開催も検討します。
- ② 事業チラシの設置や駅周辺等の街頭でのチラシ配布等を実施し、センター事業のPRを行います。
- ③ 女性会員数を増強するため、生活支援関連の講習会を開催し女性部「百合の会」の円滑な運営ができるよう支援します。

- ④ 未就業による退会者の抑制、会員への適正な就業マッチングのための就業相談を行うことやホームページや事務局だよりを有効に活用し、会員への就業情報の提供を充実させます。

(2) 就業機会の開拓・確保の充実

- ① 派遣事業において、就業開拓専門員を配置し、定期的に市内の事業所や企業等への訪問を行うとともに、会員へのマッチングを強化し、派遣事業を推進します。
- ② 国の「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を有効に活用するため、チラシ等を作成し、地域新聞折り込みによる全戸配布等により派遣事業における就業機会の確保を積極的に進めます。
- ③ 「除草・剪定作業マニュアル」に基づき、植木・除草就業会員の就業体制をグループ化します。作業要領等を統一化することによって組織立ったサービス提供に努めます。
- ④ 日常生活支援総合事業について、事業に参加できるよう「百合の会」での研修や体制づくりを検討します。

(3) 安全・適正就業の徹底

- ① 就業会員の安全を確保するため、定期的に安全管理委員による安全巡回を行います。また、刈払機取扱い講習や交通安全講習等の各種講習会を通じて、会員の安全意識の向上を図りながら、就業時・就業途上の事故ゼロを目指します。
- ② 会員の健康意識を高めるために、健康診断受診の呼び掛けとともに健診結果の提出率の向上に努めます。「健康管理講座」を開催し、会員個々の健康管理意識の高揚を図ります。
- ③ 「適正就業ガイドライン」に沿った契約をすすめ、会員の適正就業に努めます。

(4) 地域社会との連携強化

地域におけるイベント等の手伝いや公共施設の清掃等のボランティア活動に参加します。

(5) 組織運営の充実・強化

- ① センターの基本理念である「自主・自立」「共働・共助」の趣旨に沿って、理事会と事務局との連携を強化し、会員にシルバーの会報やホームページを通して情報提供に努めます。
- ② 「会員のしおり」を発行し、センターにおける会員としての意識や

ルールの周知に努めます。

- ③ 会員向けクラウドサービスの「Smile to Smile サービス」を活用し、会員への情報発信に努めます。
- ④ 事務局の体制について、係制から課制に変更し、担当事務、責任体制を明確化し連携を取りやすくします。
- ⑤ 今後の職員の定年退職に伴う事務局体制について、適宜職員の補充を行い、安定した組織づくりに努めます。

(6) 財政基盤の健全化

- ① 受注件数の増加に努め、安定した事業運営を行うとともに、財政運営資金積立資産等の特定資産の充実に努めます。
- ② センターの事務の効率化を図るとともに、事業費及び管理費に関する諸経費を精査し、節減に努めます。